

亀田総合病院健康保険組合
バレーボール予選大会競技規則

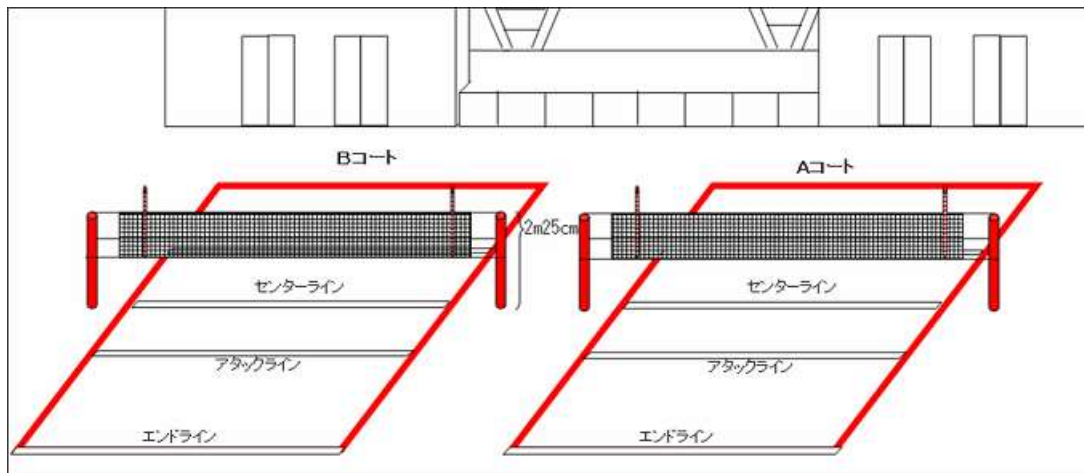
注) 試合方法、試合数によって変更の可能性があります。

1. チームの編成

1チーム7名以上9名以内

事業所（部署）ごと若しくは合同にて、それぞれチームを編成する。（ただし、チームの編成は男女混成または女子のみとすること。）

2. コー ト



3. ローテーション

サーブ権を得たチームは右回り（時計回り）に各自のポジションをひとつずつ移動する（サーブ・・・バックライト）
ただし、最初のサーブ権を得たチームは、ポジションの移動はしない。

リベロは無し。

4. サ ー ブ

1本とし、ネットインも可とする。

※サーブブロックは無し。

5. セ ッ ト 数

3セットマッチ（2セット先取）とする。

6. 試 合 ボ ー ル

規格は円周65～67cm、重さ260～280gの標準ボールとし、大会事務局で準備する。（ツーボール制とする）

MiKASA (MVA300)



※練習ボールは各チームで準備すること。

7. 得 点

すべてラリーポイント制（サーブ権のない時も得点）とし、第1・第2セットは21点先取、第3セットは15点先取とする。デュース（20対20）の場合は、2点リードするまでとするが第1・第2セットは25点先取の勝ち、第3セットは20点先取の勝ちとする。

8. 打球の回数 ラリー中は、1チーム3回までのタッチで相手コートにボールを返さなければならない。
ただし、ブロックした時のタッチは3回のうちに入らない。
9. コートチェンジ 各セットの終了後に行う。
最終セットは一方のチームが8点に達したときに行う。
10. タイムアウト 監督またはゲームキャプテンが要求できる。
1セットにつき1チーム2回までとし、1回30秒とする。
※タイムアウト中、そのチームのプレーヤーはベンチ近くのフリーゾーンに出ていなければならない。
11. 選手交代 1セットにつき6回までとする。
12. 審判等 敗者チームは、次の試合の主審判、副審判、ラインズマン、得点掲示を務めること。
ただし、両コートとも第1試合については第3試合のチームが担当すること。
(両チームより主審判1名、副審判1名、ラインズマン4名、得点掲示2名)
13. ユニフォームと背番号 ユニフォームについては、特に規制しない。
背番号は、参加申込書の背番号(1~9)を付すこと。
※各チームで準備し、糸で縫い付けるかアイロンで貼り付けまたはプリントされていること
14. その他 バックプレーヤーが、アタックラインを越えてスパイクしないこと。
抽選結果により、若番のチームがコートの本部席側で試合を開始する。
抽選結果により、若番のチームが最初のサーブ権を得ることとし、次セット以降、順番に各セット最初のサーブ権を得ることとする。
この規則に定めない事項については、日本バレーボール協会6人制規則を適用する。